

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 藤村

山名	45周年記念山行	山行名	例会
ルート	八方池山荘→唐松岳→五竜岳→アルプス平		
山行日	2024年9月29日～10月2日	天候	曇り・晴れ
参加者	リーダー：藤村 サブリーダー：中田 米田、蒲田、高橋、藤田、竹原(順)、竹原(絹)、原田、永井、西川		

ルート概略図 	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	9月30日 八方池山荘	集 発 9:24	五竜岳山荘	着 発 12:15
	唐松岳頂上 山荘	着 発 14:25	10月2日 五竜岳山荘	着 発 6:06
	10月1日 唐松岳山荘	着 発 7:45	アルプス平	着 発 12:15

4日間参加者とワイワイと話し急な登りをゆっくりと歩き、危ない岩場を慎重に歩き、そして大パノラマの美しい景色を眺めて楽しい時間を過ごすことができました。6月の案内には、体力、技術共に★★としましたが、牛首付近や五竜岳の登りは、鎖が沢山あり今思えば技術力★★★の難易度ではないかと思ひ反省をしています。前穂高の釣り尾根や、槍ヶ岳の穂先のような安全に配慮した鎖や梯子もなく、険しい岩場が多いと思います。参加者の体力・技術力に差があることを見越し、今回は十分に余裕のある行程として臨みました。疲れがでないよう休憩回数・時間共に多くそして長い時間をとるよう心掛けました。更に長い登りでは、牛歩のように遅く歩きました。そのため歩行時間は予定よりかなり長くなり、次の行程に支障がでるのではと心配しましたが、誰一人ばてることなく、また足を滑らして滑落することもなく、無事に帰れたことが一番の成果であったと思います。9月下旬から10月上旬は晴れることが多く今回も2日目は霧でしたが、3日、4日は予定通り晴れとなり、安全で快適な山行ができました。参加された皆さんご苦労様でした。

ヒヤリハット なし

《感想文》

中田

以前に白馬三山の時に頂いたトレッキングガイドの表紙を飾る唐松岳が凄く美しく、カッコイイ山と思っていました。幸い今回45周年記念登山として企画して頂き、念願の後立山連峰の唐松岳の美しい山並みを堪能出来て、五竜岳のブロッケンや岩壁が目の前に残るような山行になりました。私にはなかなかハードなコース設定に安全・安心を気遣うCLの事前準備とペース配分があって天候の助けもあり、無事に終わられました。ありがとうございました。

藤田

お天気に恵まれ、岩場や鎖場があり私にとっては大変な縦走でしたが、素晴らしい景色が見られ、雷鳥、ご来光、夕日、満天の星空など贅沢な体験をさせていただきました。同行して下さった皆様ありがとうございました。とても楽しい4日間の山旅でした。

竹原

45周年記念山行で、唐松岳～五竜岳周回山行に参加してきました。車3台(内1台は現地合流)で11名(女性6名、男性5名)の山行でした。

1日目は白馬村までの約400kmの道のりは約100km毎に休憩をとる安全運転での約8時間のドライブでした。一泊目の宿は一棟貸し切りのアパート方式が2棟。一泊だけではもったいないようなリゾート感覚を味わえました。

2日目の登山は八方尾根伝いに唐松岳を目指し、唐松岳山荘に泊まるコースです。黒菱第3ペアリフト乗り場の駐車場に1台、最終日に下山して来る五竜エスカルプラザ駐車場にもう1台を配車して、登山の準備完了です。黒菱第3リフトとクワッドリフトを乗り継いで八方池山荘前の登山口から登山開始。生憎、小雨模様で八方池からの白馬三山など全くガスの中。パンフレットなどで見覚えのあるその雄姿を全く見られなかったのは本当に残念でした。結局、今日の約5時間弱の唐松岳山荘までの山行はガスの中の山行でした。山荘への到着は2時半。ここで、別行動の1名と合流、11名全員がそろいました。視界は利かないが元気な方々は山頂を目指しブロックン現象が見れたとの事、よかったですね。夕方には晴れてきてきれいな夕焼け空を背景に剣岳から立山連山のシルエットが印象的でした。

3日目は打って変わっての好天。前日全く見えなかった唐松岳山頂が朝日に照らされてすぐそこに。山頂からの360度の眺望は本当に圧巻でした。写真ではその雄大さは収まり切れないので目に焼き付けるように努めました。今日の山行はここ唐松岳から五竜岳までです。稜線伝いを五竜岳山荘に向かって南下、山荘に荷物を置いて五竜頂上をピストンで往復。総歩行距離約6km、7時間15分という計画でした。ところが、歩き始めの約1kmの岩場と五竜岳山頂近くの岩場が予想以上に険しく、ペースもガタ落ちになり結局10時間の山行になってしまいました。しかし、真っ青の空を背景にした周りの山々の景色は素晴らしく撮影スポットがいっぱいあったのが何よりの救いでした。しかし、苦労して登頂した五竜山頂ではガスがかかって視界が全く利かなかったのが残念でした。しかし、ブロックン現象を見ました。本日の感想は、私の体力では難易度が低ければ1.2程度の係数で良いが、鎖場のあるような難易度の高いコースでは1.5～2程度で見積もる必要があると気づいたことです。

最終日は、五竜山荘からほぼ東に延びる遠見尾根を西遠見山、大遠見山、中遠見山、小遠見山のピークを越えて五竜高山植物園までの約6.5kmを4時間40分程度で降りてくるというコースです。今日も好天に恵まれ、尾根を進むにつれて変わっていく周りの山々の山容を心行くまで堪能できました。昨日同様、最初の西遠見までの1km弱が鎖の助けを借りるような難易度の高い岩場コースでペースが落ち込み、その後の各遠見山を越えるのに体力を消耗してペースが上がらず、結局所要時間は6時間15分でした。

初日と五竜山頂ではガスで視界が遮られたが、それ以外では白馬連山はもとより、遠く北アルプスから南アルプスや富士山まで視界に収めることができ、いつまでも記憶に残る素晴らしい山行でした。

米田

縦走なんてした事ないしはじめは参加する予定ではなかったのに「ロープウェイとか乗るし大丈夫や」という言葉で心が揺らぎました。1泊目の素敵な棟貸しペンションで気分は盛り上がり、2日目の八方池はガス(小雨)で景色は望め無かったけど唐松岳からの夕焼けの後立山連峰からの剣岳、立山の山並みは美しかったです。3日目いよいよ牛首という難所に挑戦。もう戻れない。一步一步慎重に進みました。午前中は山はとても綺麗です。昼からガスがどんどん湧いてきて山を隠していきます。そして五竜岳にチャレンジ。とても寒かったけどブロックン現象に雷鳥にも会えました。4日目下山ですが行けども行けども到着しません。パラグライダーや花達に癒されながら頑張りました。昔スキーで行った事のある山々が懐かしかったです。そして素敵な山がまだまだ有ると感動しました。水問題に頭を悩ませた山行でしたが楽しい4日間本当に有り難うございました





唐松岳頂上



岩場の牛首



ガスの中の五竜岳頂上



白岳頂上



朝焼けの五竜岳



遠見尾根

※五竜岳と五竜山荘の写真は、次号 400 回記念号の表紙に使用させていただきます（会誌部より）